

令和2年度 幌加内町教育行政執行方針

幌加内町教育長

小野田 倫久



はじめに

令和2年第1回町議会定例会の開会に当たり、幌加内町教育委員会所管の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

少子高齢化や人口減少、高度情報化の進展や人工知能の普及など、社会のあらゆる領域で様々な変化への対応を求められている現在、本町がより魅力あふれる地域として発展していくためには、「人づくり・地域づくり」の基盤となる教育の役割が益々重要となってきたとあります。

このような認識の中、教育委



員会としましては、幌加内町教育大綱に示された、「確かな学びと夢や希望を育み地域の特色を生かした活力あふれる学校教育の推進」、「いきいきと楽しく学べる生涯学習の推進」とやさしさあふれる交流から生まれる心豊かな人づくり」を教育・文化・スポーツ分野における基本方針とし、具体的な取組を展開してまいります。

本年度の教育行政執行方針の策定にあたり、第7次幌加内町総合振興計画及び幌加内町教育大綱に基づき本町の実情に応じた教育振興を図るべく、関係機関との連携を深めながら所管す



基本方針

学校教育

る施策を推進してまいります。

平成28年に策定した「学校教育推進計画」は5年次を迎えます。本計画では、めざす子どもの姿を「ふるさとに誇りをもち、人々と支え合い、たくましく生きる、幌加内の子」とし、「確かな学力の育成」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」を推進の重点としており、各学校において具現化が図られるよう、きめ細やかな施策の展開を推進するとともに、地域との積極的な連携を図り、信頼性を高



め、開かれた学校づくりの推進に努めてまいります。また、本計画は最終年度となりますので、これまでの実践及び評価を踏まえ、新たな学校教育推進計画の策定に取り組んでまいります。



町内各学校の状況

令和2年における町内各学校の状況について申し上げます。

本年度の小学校は、幌加内小学校で、普通学級4学級と特別支援学級3学級の合わせて7学級、朱鞠内小学校で、普通学級3学級と特別支援学級1学級の

合わせて4学級となり、小学校全体では、11学級となり、児童数は55名の予定となります。

中学校は、普通学級3学級と特別支援学級2学級の合わせて5学級で、生徒数は34名の予定となります。

高等学校では、12名の入試志願者があり、生徒数は、35名となる予定であります。

小・中学校義務教育

本年度より約10年ぶりに改定された新学習指導要領に基づく小学校教育がスタートします。

特に大きな変化として外国語・道徳の教科化、プログラミング教育の導入があげられます。

本町においても、町内学校間の連携強化、英語指導助手の効果的な活用、新しく導入されるカリキュラムに対応した機器類の導入などにより、新学習指導要領の求める学習指導の実現に向けて努めてまいります。

また、昨年12月に文部科学省より発表されました「GIGAスクール構想」への対応についてですが、ICTを基盤とした先端技術等の教育における効果的な活用が求められることにな

り、一定以上の校内LAN環境の整備が必要となりましたので、各校の現状調査を行い、必要があれば補正予算により対応してまいりたいと考えております。

高等学校

全国でも唯一、学校設定科目の「そば」授業の取り組みや、道内公立学校では最先端のICT教育の実践、生産から加工製造、販売まで一貫した六次産業化への学習を強化推進するた

め、生徒自ら主体的に経営する幌高商店会の運営や、旭川食べマルシェなどでの販売会を通して生徒の活躍に加え、全国高校生そば打ち選手権での団体戦三連覇により、道内外において幌加内高校の知名度が上がってい

ると実感しているところでありますが、全国的な少子化傾向は一段と強まっており、生徒募集については、年々、大変厳しい状況下にあります。

そのような中、札幌近郊や旭川市並びに近隣市町村や北空知管内を中心に中学校訪問を積極的に実施するに併せて、一日体験入学や、個別での対応を含めた学校見学会に加え、中学校の教員を対象とした説明会を実施し、生徒募集の強化に努めているところでございます。

また、初めて親元を離れ、寮生活を行う生徒が大半であることから、生徒が抱える様々な問題に対応するため、社会福祉の専門家や、臨床心理士による心のケアと合わせ、総合的な対策を図っているところであります。

教育委員会といたしましても、将来を担う子どもたちの多様なニーズを捉え、各関係機関・地域とも連携を図り、小規模校ならではのきめ細やかな指導や、時代のニーズに合った教育を実践し、グローバル社会に

適応できる人間形成の拠点となるべく、学習指導や生徒指導の分析を細やかに行い教育環境の充実や、渓雪寮の環境整備を計画的に取り組んでまいります。

学校給食事業

学校給食は、成長期にある児童生徒の健康の増進を図ることに加え、食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材として、計画的・継続的な指導を行うことにより、望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付





けさせることができます。

給食センターにおいては、栄養教諭を配置して食育教育の充実を図っているところであり、近年の野菜等の価格高騰の影響はありますが、引き続き、全量地元産米を使用してまいります。

今後においても食中毒や異物混入を未然に防止するため、共同調理場の衛生管理の徹底を図り、食物アレルギーを有する児童生徒には代替食の提供を行い、安全で安心な学校給食に努めてまいります。

社会教育

社会教育は、生涯学習社会の中核として、地域全体に関わる様々な課題を解決するため、「社会教育中期計画」を基に、町民

の方々が学んだことを地域に活かせる学習の推進、地域資源を活かした教室の開催、各種スポーツ活動の支援、生活文化の向上を目指した講座の開設等、社会教育関係団体との連携を深め、町民の皆さんとの協働の中で、生涯教育に取り組んでまいります。

本町の社会教育活動の拠点であります生涯学習センターの機能を充分に活かして事業推進に努め、町民の皆さんが自主的に行う文化・芸術活動への支援に取り組むとともに、各地区公民館を中心とした地域の特色ある活動にも支援をしてまいります。

また、図書室においては、新刊案内をはじめ、季節に応じたお薦めコーナーの設置、新生児に絵本を贈るブックスタート事業、巡回図書等、身近に本と触

れあえる機会の増大に向けて引き続き取り組んでまいります。

保健体育

心豊かで明るい生活を続けるためにも、自分にあったスポーツを継続することが最も大切なことであります。

本町の多雪を活かした冬期間のスポーツであるスキートの楽しさを、町民に知っていただくことを目的に、スキー連盟指導員会の協力により、幼児・児童・一般向けのスキー教室の開催、また、児童・生徒を対象に実施しております土曜日・日曜日・祝日のリフト券の助成やシーズン券の助成は、本年度においても引き続き実施してまいります。

今後ともスキー連盟をはじめ

め、関係機関と連携を図り、町技でありますスキートの普及、振興に努めてまいります。

ほろたちスキー場のリフトについては、安全な運行を行うため、引き続き計画的に整備してまいります。

また、山村広場横に整備中の幌加内町民プールについては、今年6月の供用開始に向けた準備を進めてまいります。

今後も社会教育施設の整備や維持、関係団体の活動支援について、より一層の連携を計りながら事業推進に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

育英事業

本町の奨学資金事業は、経済状況によって就学の機会が奪わ

れないようにするため、本町に住所を有する学生等の育英を目的として、本年度もこれまでと同様、新規貸付者を大学、各種学校、高等学校についてそれぞれ予定しております。

むすびに

以上、令和2年度の教育行政の執行について申し上げましたが、町民の皆さまの学習環境の整備や学習機会の提供に向けて取り組んでまいりますので、町議会並びに町民の皆様のなご一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、教育行政執行方針といたします。

